



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2008年11月12日
MR/J47/08

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学、第1回斜面防災世界フォーラムを主催

イベント： 第1回斜面防災世界フォーラム
テーマ： 「国連国際防災戦略における斜面災害に関する地球システム危険度解析と持続可能な災害管理についての研究と学習の強化」
日時： 2008年11月18日（火）～21日（金）
場所： 国連大学本部（東京都渋谷区）3階、ウ・タント国際会議場
主催： ICL、UNU、UNESCO、WMO、FAO、UN/ISDR、UNEP、IBRD、UNDP、ICSU、WFEO、KU、JLS*

- 国際斜面災害研究機構(ICL)は、非営利科学機関として2002年に設立された組織である。2006年1月に国連大学本部で開かれた、ICLと後援機関の円卓会議での話し合いで、2006年東京行動計画「斜面防災と関連地球システム災害の危険度軽減のための地球規模での研究と学習の強化に関する東京行動計画」が採択された。この東京行動計画は、世界の斜面防災研究者が共同活動を行う世界的な情報交換の場として、斜面防災世界フォーラムを設立するよう提唱した。
- 第1回斜面防災フォーラムには、斜面防災の研究や教育に取り組んでいる大学、政府、国連、民間の機関の出席が予定されている。本フォーラムは、2005年に神戸で開かれた国連防災世界会議で採択された2005～2015年兵庫行動枠組「災害に強い国・コミュニティの構築」に従って開催されるものである。フォーラムの成果はISDR防災グローバルプラットフォームに情報として提供される。
- 斜面災害世界フォーラムの開会は2008年11月18日午前9時である。内容は以下のとおり。
 <1日目>「国際斜面災害研究計画に関する活動の進歩」に関する公開フォーラムと「地球規模斜面災害危険度軽減」に関する全体シンポジウム。午前の最後に世界の機関から選ばれた「斜面災害危険度軽減に関する世界的COE」が発表される。
 <2日目と3日目>関連のある様々なテーマについての基調講演と分科会セッション。
 <4日目>基調講演に続き、「斜面災害の経済社会的インパクトと地球変化--研究と災害危険度軽減」についてのハイレベル・パネル討論会、および統括セッション（ここで2008年東京宣言を採択）。
- またこれらと並行して、公開セッション「世界の地すべり：各国の経験とケーススタディ」（2階、午前11時～午後4時30分）および、「社会と文化自然遺産を地すべりから守るために」（11月19日午後2：00～5：30）を行うほか、2階の国連展示場では「世界の地すべりと斜面防災」の展示（11月6日～28日）が行われている。

本フォーラムの取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野（やの）までご連絡ください。電話：03-5467-1311、Eメール：media@unu.edu

* ICL：国際斜面災害研究機構；UNU：国際連合大学；UNESCO：国際教育科学文化機関（ユネスコ）；WMO：世界気象機関；FAO：国連食糧農業機関；UN/ISDR：国連国際防災戦略事務局；UNEP：国連環境計画；IBRD：世界銀行；UNDP：国連開発計画；ICSU：国際科学会議；WFEO：世界工学団体連盟；KU：京都大学；JLS：日本地すべり学会